

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和2年10~12月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市中央通3丁目5-1

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	61事業所
3. 回答率	48.8%
4. 業種別内訳	
製造業	12事業所
建設業	6事業所
卸売業	3事業所
小売業	23事業所
サービス業	17事業所
合計	61事業所

5. 実施時期

令和3年 2月から3月

6. 調査対象期間

令和2年 10月～12月（第3四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

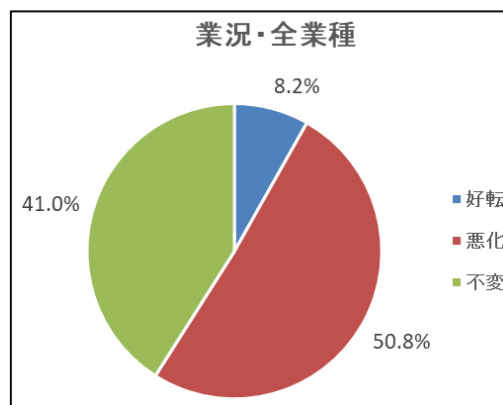
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

Ⅱ. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比のD I値は▲42.6ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は8.2%、悪化したと回答した事業所が50.8%、変わらないと回答した事業所は41.0%だった。



令和2年10～12月の前年同期比は、新型コロナウイルス感染症の影響による取引先・客数の減少、催物等の中止・自粛による影響以外にも、仕入価格が上昇していることから全体的に業況が悪化している。

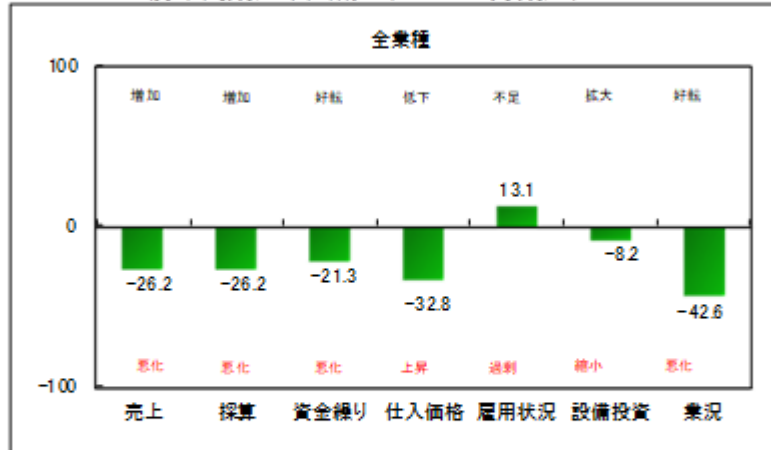
	R1. 10～12 前年同月比	R2. 7～9 前期比	R3. 1～3 見通し
全業種	▲42.6	▲31.1	▲31.1
製造業	▲41.7	0.0	8.3
建設業	▲16.7	16.7	▲33.3
卸売業	0.0	▲33.3	▲66.7
小売業	▲43.5	▲52.2	▲34.8
サービス業	▲58.8	▲41.2	▲47.1

来期見通し(令和3年1～3月)についても、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが不透明の為、厳しい状況が続くのではないかという意見が多かった。一方で、製造業では、関連業種からの受注増加、海外輸出環境の好転により景況は上向くのではないかという意見が多数あった。

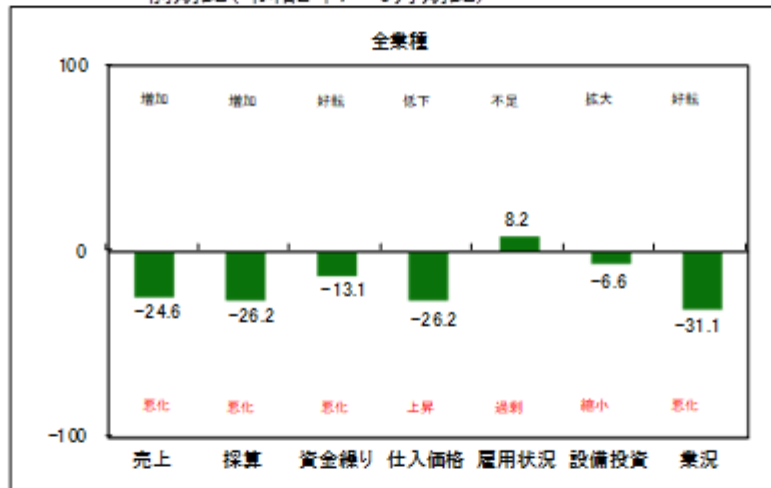
市内景気動向

全業種

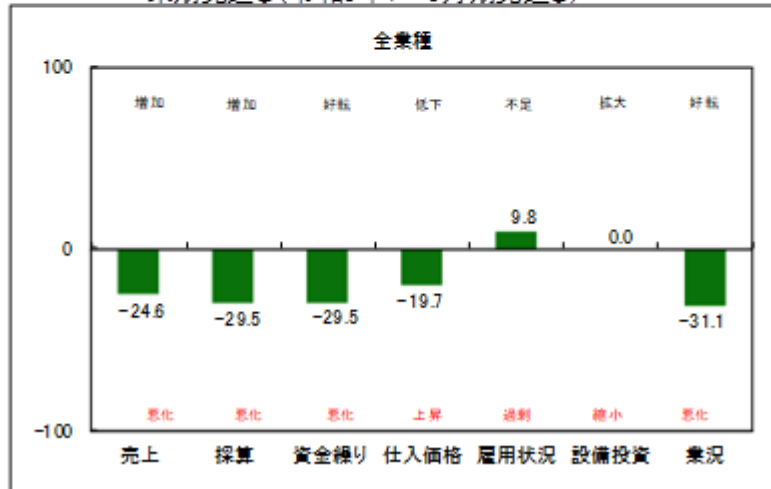
前年同期比(令和元年10~12月期比)



前期比(令和2年7~9月期比)



来期見通し(令和3年1~3月期見通し)

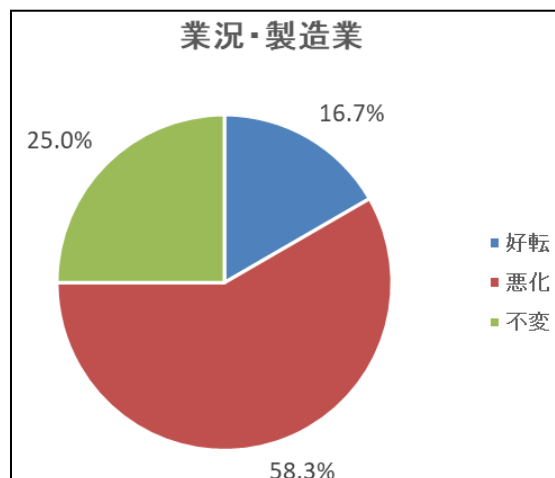


2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I値が▲41.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、
16.7%、
悪化したと回答した事業所が58.3%、
変わらないと回答した事業所が25.0%
だった。

来期見通しD I値は8.3ポイントで、改善
する見通しとなっている。



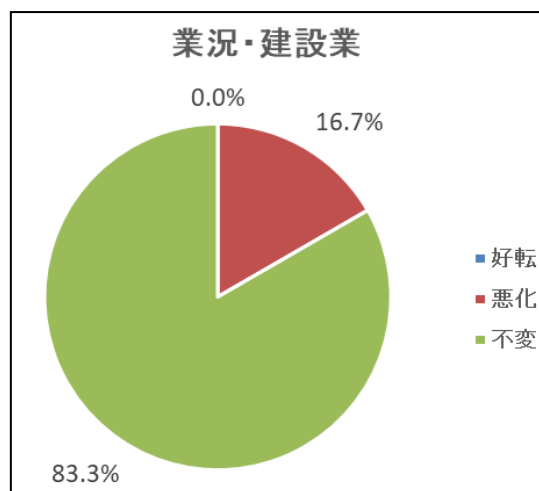
○主な意見

- ・「受注量が減少した。」
- ・「売上は微増しているが、仕入価格が上昇しているので、景況はあまり変動しない。」
- ・「新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、事業規模を縮小した。」
- ・「水揚げ不良により、仕入価格が高騰した。」
- ・「年度末より、電子部品の取引が好調であり、来期もこの状態が続くと見込んでいる。」

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I値が▲16.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、
悪化したと回答した事業所は16.7%、
変わらないと回答した事業所は83.3%だった。

来期見通しのD I値は、▲33.3ポイントで、悪
化する見通しとなっている。



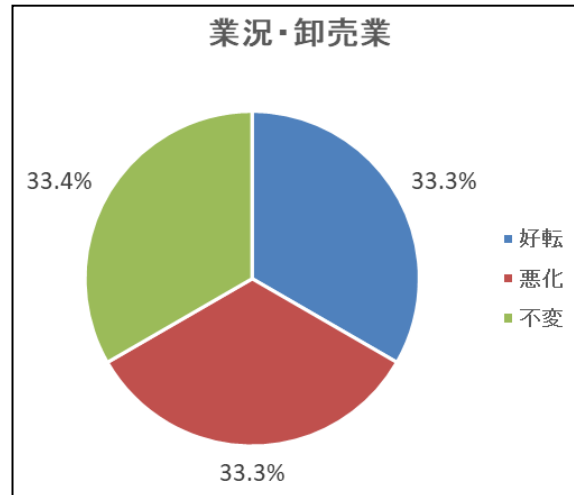
○主な意見

- ・「前年同月は、民間物件の大きな取引があったが、今年度はなかったので減少した。」
- ・「公共工事の競争が厳しくなった。」
- ・「人手不足により、仕事がとれない為、売上が伸びない。」
- ・「仕入価格が上昇しており、売上も来期は伸びそうにないので、今後も厳しい状況が続くと考
える。」

③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が0. 0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は33. 3%、
悪化したと回答した事業所が33. 3%、
変わらないと回答した事業所は33. 4%だっ
た。

来期の見通しD I 値は、▲66. 7ポイントで、
悪化する見通しとなっている。



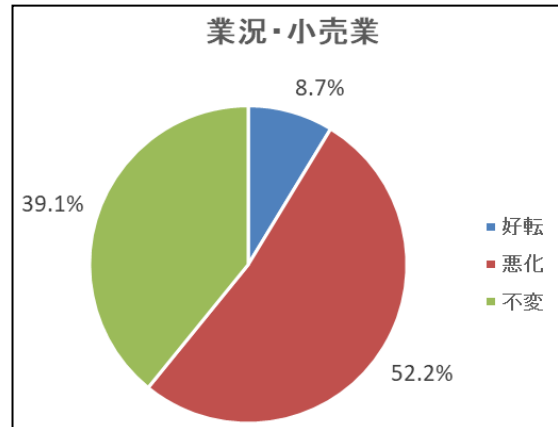
○主な意見

- 「コロナ不況で飲食店への売上が低下した。」
- 「前年同月比並の売上だった為、資金繰りに特に問題はなかった。」
- 「消費者が外食を避けるようになった。」
- 「売上が不透明な状態で仕入価格も上昇しており、今後も業況は悪化すると見込んでいる。」

④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲43. 5ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は8. 7%、
悪化したと回答した事業所は52. 2%、
変わらないと回答した事業所は39. 1%だっ
た。

来期の見通しD I 値は、▲34. 8ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



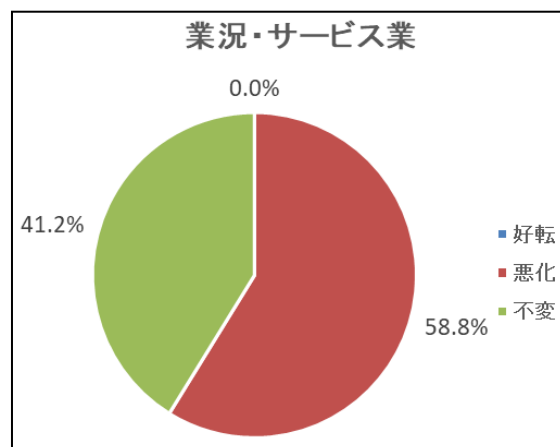
○主な意見

- ・「新型コロナウイルス感染症の影響により、来客数が減少した。」
- ・「弁当販売により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けず、むしろ売上が増加した。」
- ・「新型コロナウイルス感染症の影響で、忘年会等が中止となり、利用するお客様が減った。」
- ・「時短営業により、売上は減少したが、協力金等の申請を行い、資金繰りには苦慮しなかった。」
- ・「オリジナルのレトルト食品を取り扱う等、新たな販路開拓に取り組み売上増加を目指す。」

⑤ サービス業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲58.8ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0%、
悪化したと回答した事業所は58.8%、
変わらないと回答した事業所は41.2%だった。

来期見通しD I 値は、▲47.1ポイントで、
悪化する見通しとなっている。



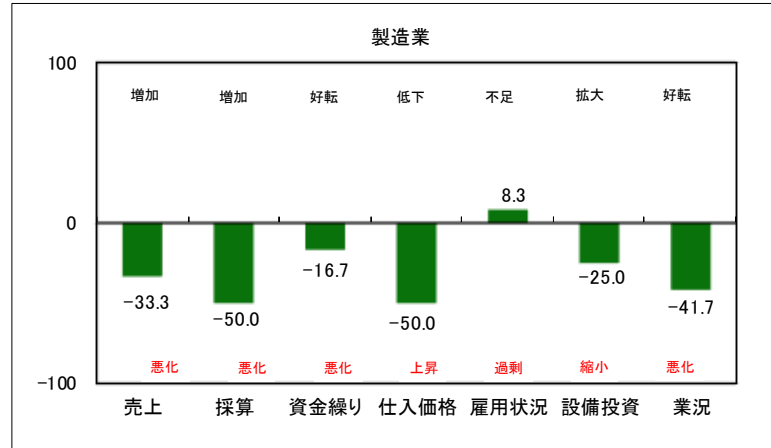
主な意見

- ・「新型コロナウイルス感染症の影響と、お客様の年齢層が高齢化している為、売上が減少した。」
- ・「新型コロナウイルス感染症の影響で、対面サービスの売上が減少したが、売上確保の為、商品販売等の取り組みを行い、全体売上の減少を何とか抑えた。」
- ・「新型コロナウイルス感染症が終息するまでは、売上の回復は出来ないと感じる。」
- ・「広報等を行い、今後徐々に売上増加を目指していく。」

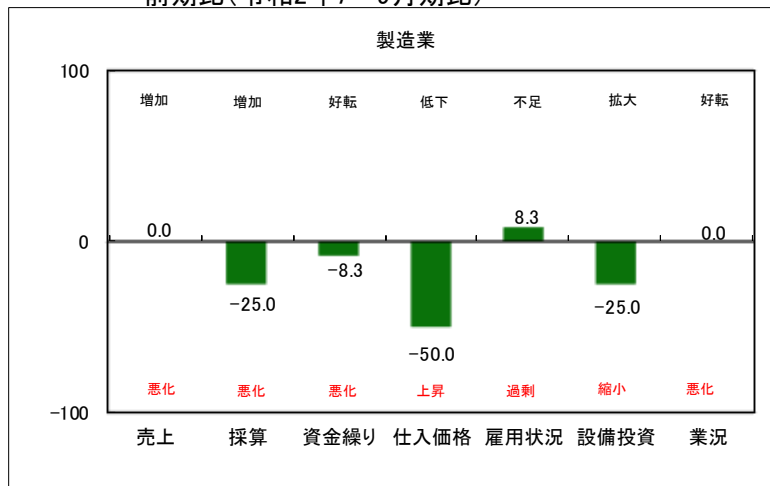
業種別景気動向

製造業

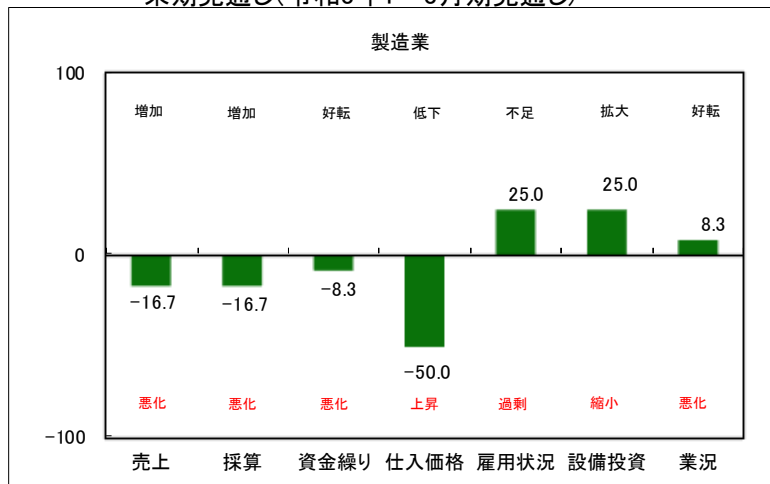
前年同期比(令和元年10~12月期比)



前期比(令和2年7~9月期比)



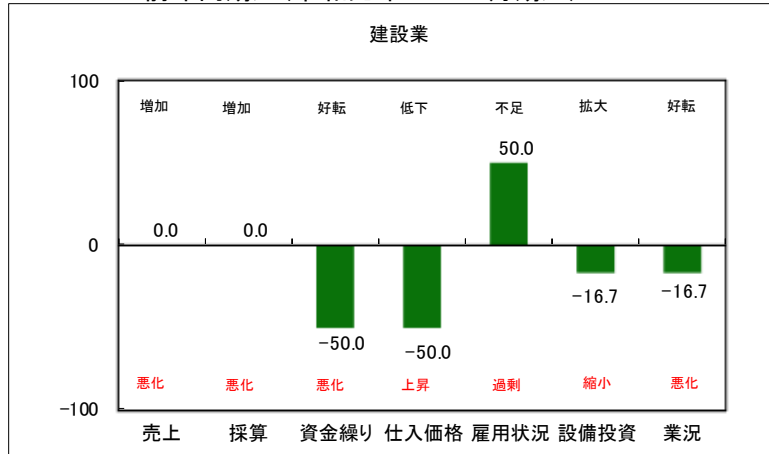
来期見通し(令和3年1~3月期見通し)



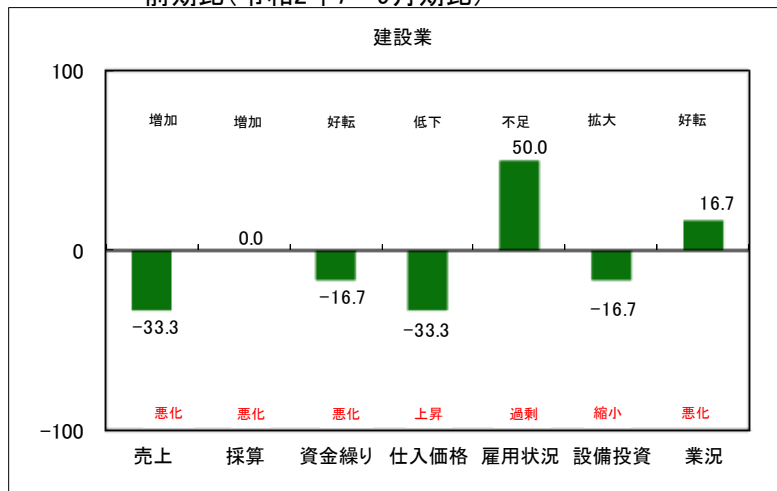
業種別景気動向

建設業

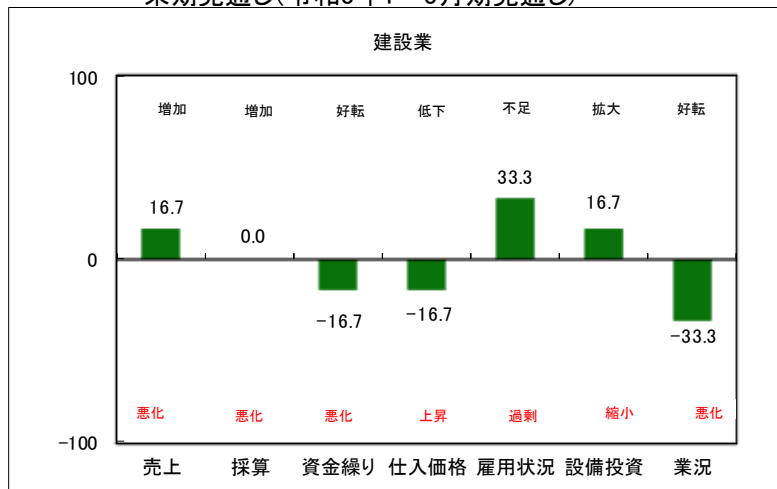
前年同期比(令和元年10~12月期比)



前期比(令和2年7~9月期比)



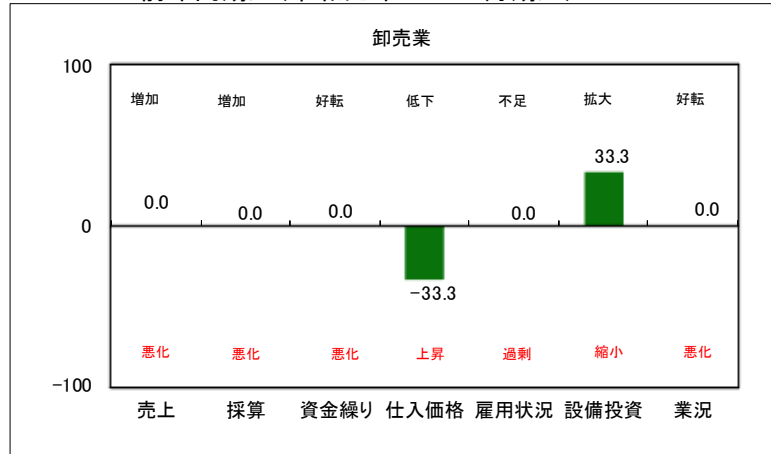
来期見通し(令和3年1~3月期見通し)



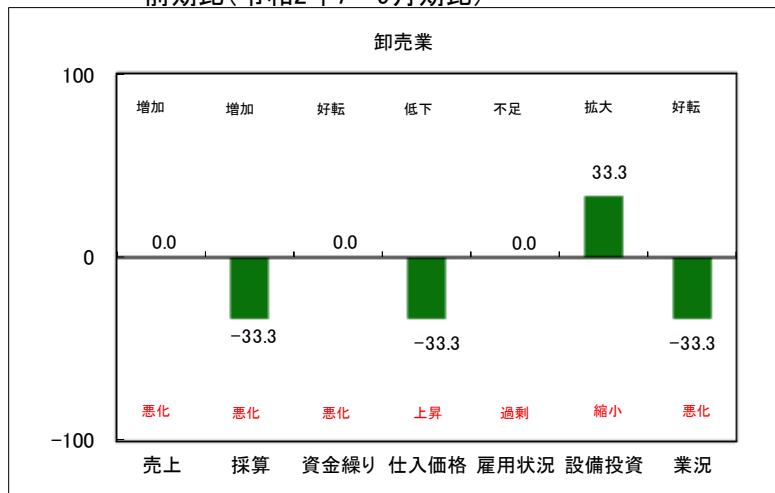
業種別景気動向

卸売業

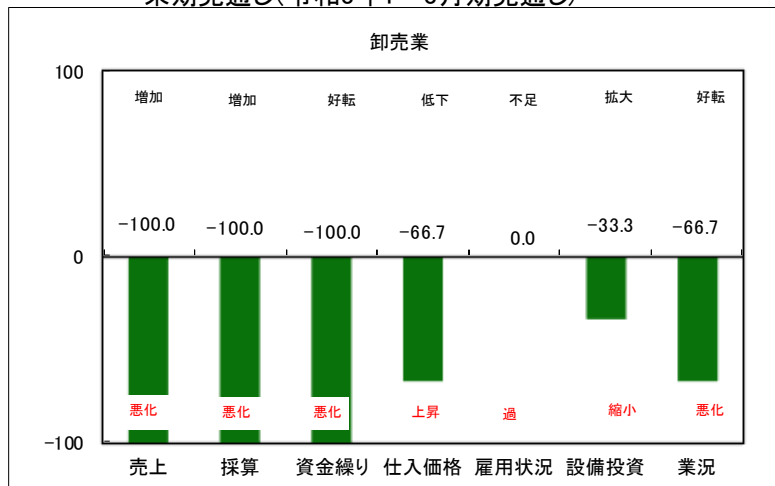
前年同期比(令和元年10~12月期比)



前期比(令和2年7~9月期比)



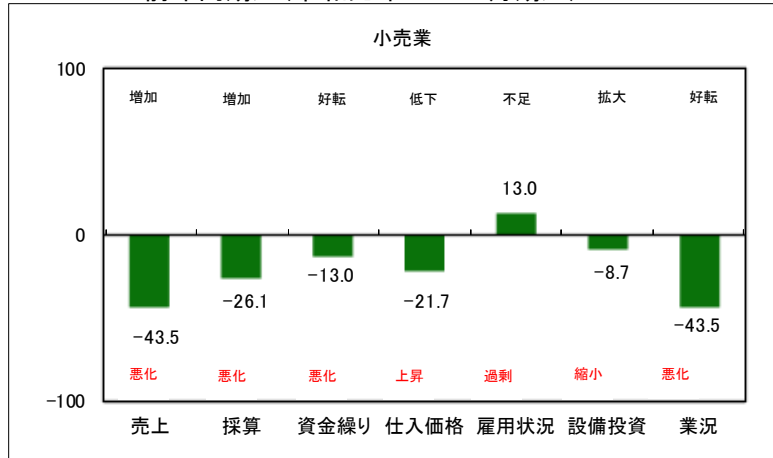
来期見通し(令和3年1~3月期見通し)



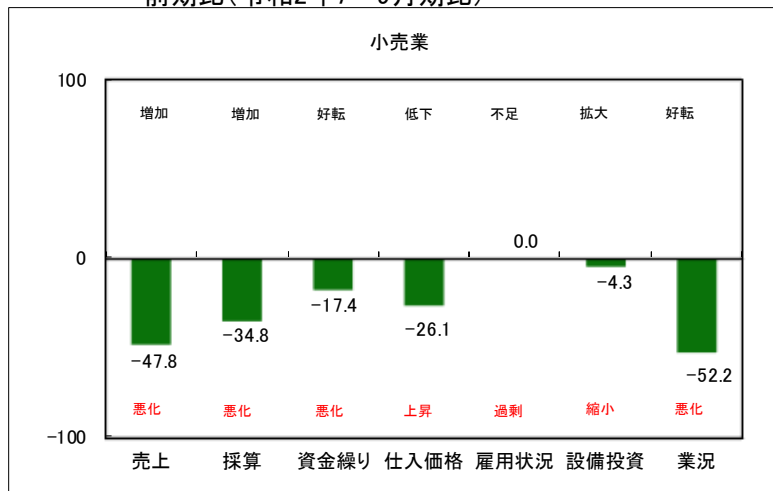
業種別景気動向

小売業

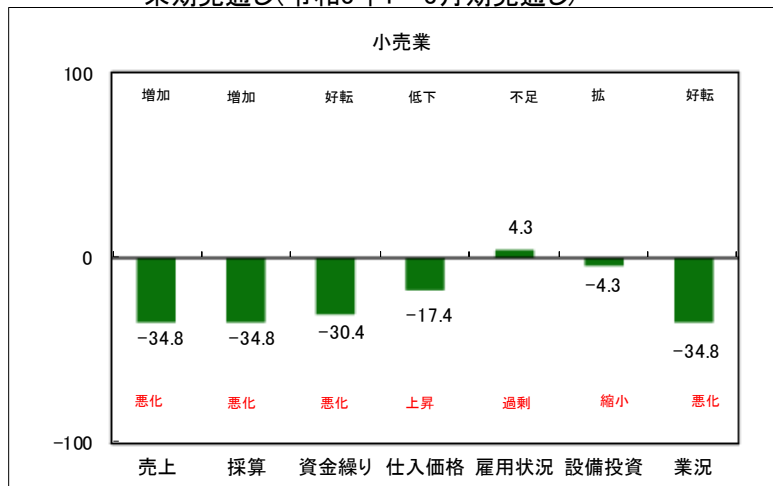
前年同期比(令和元年10~12月期比)



前期比(令和2年7~9月期比)



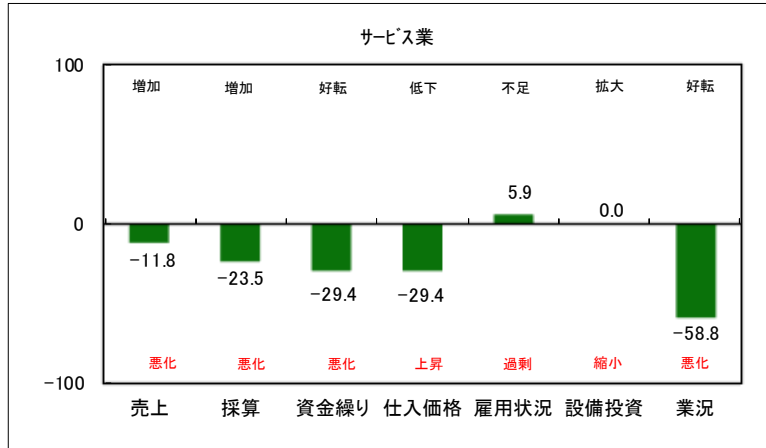
来期見通し(令和3年1~3月期見通し)



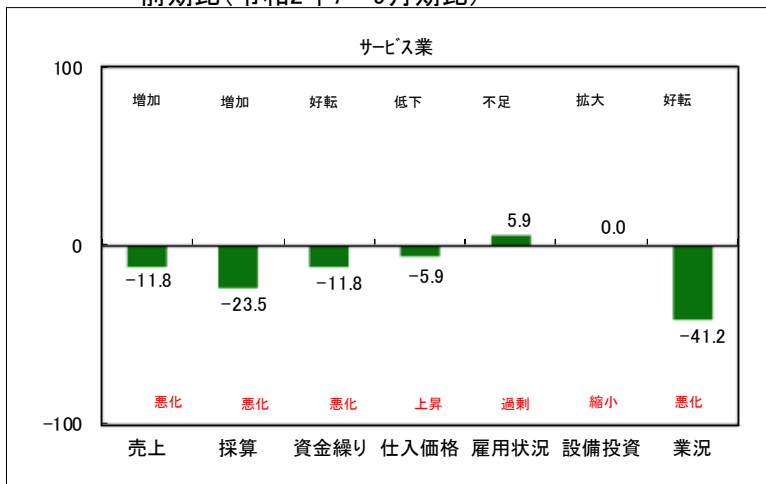
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和元年10~12月期比)



前期比(令和2年7~9月期比)



来期見通し(令和3年1~3月期見通し)

